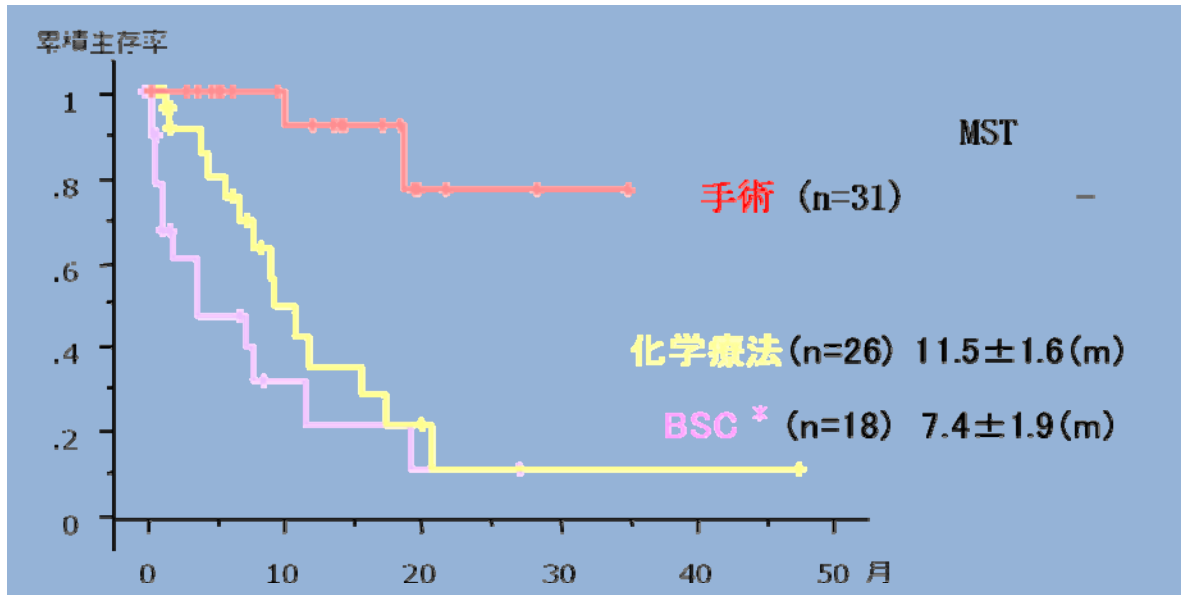


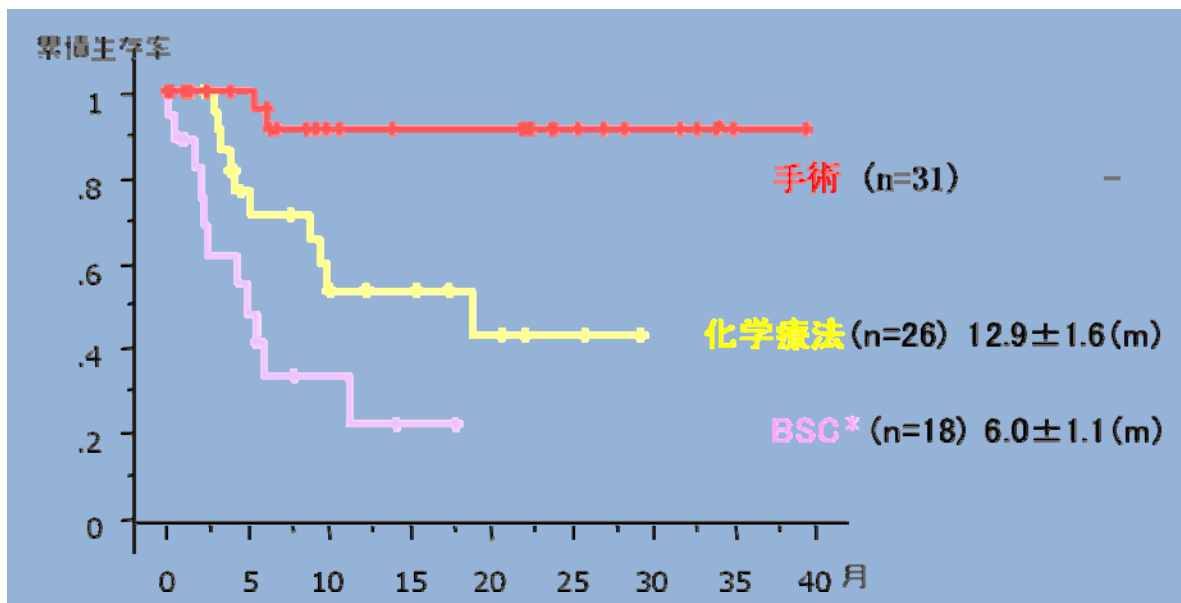
膵癌と胆道癌の生存曲線 (2007年～2009年)

●膵癌 三年間(2007-2009)の間に北野病院に入院された膵臓癌の患者 70 人の生存曲線です。手術症例では観察期間がまだ短い為に平均生存期間が出ておりませんが、非常に良い結果が出ています。また、化学療法群および BSC (best supportive care)群の平均生存期間がそれぞれ 11.5ヶ月と 7.4ヶ月と通常(6—7ヶ月、3ヶ月)に比べて長いのが当院の特徴です。手術症例および化学療法症例は全例で組織学的確認を行っていますが、BSC では病理学的確認が取れていない症例が含まれています。



※BSC の症例は病理学的確認が取れていない患者を含む

●胆道癌 三年間(2007-2009)の間に胆道癌で北野病院に入院された方 75 人の生存曲線です。内訳は肝内胆管癌 15 人、肝門部胆管癌 14 人、肝外胆管癌 15 人、胆嚢癌 19 人、十二指腸乳頭部癌 12 人です。手術症例では観察期間がまだ短い為に平均生存期間が出ておりませんが、非常に良い結果が出ています。また、化学療法群および BSC (best supportive care)群の平均生存期間がそれぞれ 12.9ヶ月と 6.0ヶ月と通常(3ヶ月、6—7ヶ月)に比べて長いのが当院の特徴です。手術症例および化学療法症例は全例で組織学的確認を行っていますが、BSC では病理学的確認が取れていない症例が含まれています。



※BSC の症例は病理学的確認が取れていない患者を含む